

令和6年度第1回加美町総合教育会議議事録

---

開催日時 令和6年4月25日(木曜日)  
午後3時00分～

---

開催場所 加美町役場宮崎支所3階大会議室

---

出席者 加美町長 石山 敬貴  
加美町教育委員会 委員 大宮 信彦 同 委員 田中 舞  
同 委員 猪股 直美  
同 教育長 鎌田 稔

事務局 総務課長 佐々木 実 同 課長補佐 内出 泰照  
教育総務課長 遠藤 伸一 同 専門監 高橋 俊次  
学校教育環境整備推進室長 渡辺 信行 同 主査 早坂 雅彦

---

協議事項 (1) 加美町立小野田地区認定こども園・小学校再編について

---

午後3時00分 開会・開議

○教育総務課長

すみません、定刻前でございますけれども、野村委員ですけれども、欠席の報告がありましたので、ご報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

○総務課長

みなさんご苦労様でございます。定刻の前ですが、野村先生、欠席されるということで、それ以外の方は、お集まりということなので、これからですね、地方教育行政の組織および運営に関する法律第1条の4項に基づきまして、令和6年度第1回加美町総合教育会にも開催いたします。

開会にあたり、主催者の石山町長よりご挨拶申し上げます。

○石山町長

はい、皆さんこんにちは。鎌田先生をはじめ、教育委員会の皆様には、先の会議に続きお時間を頂戴して、誠にありがとうございます。日頃より、加美町の小学生904名、中学生514名のために、ご尽力を頂いていることを感謝申し上げます。あれ、幼稚園も?田中先生、ごめんなさい。

今日、議題としましては、すごく重要案件でございます。加美町立小野田地区認定こども園と、小学校の再編ということで、ご議論頂くことになります。私の聞いている限りで

は、普通、小学校だ、幼稚園だとかっていうのも、合併っていったことになると、この加美町、または小野田地区の歴史をひも解いてもですね、そうそうすんなり合併なんていうことを認めんぞ、というような流れが、この、もう数十年間の歴史の中にあるわけですが、今回は様々な住民の皆さんのですね、自分たちが取り巻く環境、少子化の影響ということ、状況ということをご理解いただいているのかなと思ひながら、大卒では賛成といったようなことと聞いております。

しかしながら、その一方で、やはり学校がなくなるということは、様々な面におきまして、地区住民の皆様にとっても様々な弊害が出てくることは、これ間違いないことで。その中におきまして、諮問を何回かさせていただいて、答申ですか、中では色々とうそういうことの提言というのがなされているといったことを、私も認識しておりますので、そういう部分に関して、さらにご意見いただければと思ひておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。

○総務課長

ありがとうございました。次に、協議事項の方に移ってまいりたいと思ひます。

協議事項の進行につきましては、地方公共団体の町である石山町長の方にお願ひいたします。

○石山町長

それでは早速、協議事項に入らせていただきます。

今日の協議事項は、先ほどもございましたが、加美町立小野田地区認定こども園・小学校の再編についてです。それでは事務局より説明をお願いします。

---

(1) 加美町町立小野田地区認定こども園・小学校再編について

○資料「加美町町立小野田地区認定こども園・小学校検討委員会からの答申内容」

「小野田地区こども園・小学校の再編に関するこれまでの経緯」

上記資料により、教育総務課長より説明。

本日は、小野田地区の認定こども園と小学校の統合について、令和6年2月20日に、検討委員会より提出されました答申書に基づき進めてよろしいか、総合教育会議の意思決定を図りたいと思ひますので、よろしくご協議のほどお願ひ申し上げます。

それでは、すいません、着座にて説明させていただきたいと思ひます。まずですね、先立ちまして、すいません、これ拡張、幅がないので、ただ使っているだけで、録音用のマイクでございます。

○石山町長

そうですよね、だから、喋るときってマイク使った方がいいんですよね。

○教育総務課長

マイク、一応、使っていただければ、申し訳ございません。

先立ちまして、経緯について申し上げたいと思います。

お手元の資料の小野田地区こども園、小学校の再編に関するこれまでの経緯という資料をご覧いただきたいと思います。両面刷りでございます。表面が小野田地区こども園、裏面が小学校の経緯を記載した資料でございます。だいたい同じような内容になっておりますので、かいつまんでご説明させていただきたいと思います。

令和4年11月に町政懇談会で説明をしてご意見をいただくとともに、保護者会等において説明をし、意見を頂戴したところでございます。また、統合に関してアンケート調査を実施いたしました。その結果、統合に関してはおおむね賛同を得られたという認識のことです。今後、具体的に統合に向けた検討を進めるため、こども園と小学校の連携を強化した、より良い教育環境の在り方という観点を重視いたしまして、こども園と小学校の統合を一緒に検討することが望ましいと思ひまして、令和5年11月にですね、加美町立小野田地区認定こども園・小学校検討委員会を設置したところでございます。この検討委員会には統合時期、統合場所等について諮問をしまして、全5回にわたり検討を重ねていただきました。去る2月20日に検討委員会から答申書が提出されたという経緯でございます。

この答申書提出後にですね、教育委員会の皆様、あるいは議会の方にも答申の内容についてご報告をさせていただき、また4月になってから検討委員会から提出された答申内容を記載した、統合だよりというものをこども園、小学校の各保護者に配布をいたしました。また、小野田地区内には回覧で周知を図ったという経緯でございます。簡単ですが、これまでの経緯についてご説明させていただきました。

それではですね、総合教育会議の委員の皆様にご協議をお願いしたいと思います。協議につきましては、こども園と小学校に分けて協議をお願いしたいと思います。そして、総合教育会議としての意思決定を図らせていただければなと思っております。よろしく申し上げます。

はじめにですね、こども園の統合に関してご協議をお願いします。見ていただく資料は、ペラ1枚ものの協議事項、加美町立小田地区認定こども園・小学校の再編についてという資料をご覧になっていただきたいと思ひます。この資料につきましては、答申書を抜粋した、要約した資料でございます。それでは、こども園について協議をお願いします。

まず、こども園につきましては、統合の位置ですが、おのだひがし園の幼稚園部園舎、保育園部園舎を利用することで全員の合意が得られたという答申内容でございます。また、統合の時期につきましては、令和7年4月1日の開園を目指すことという答申でございます。そして、再編に関して必要な事項ということで、5点答申がございました。さらには、付帯意見として、保育園と幼稚園部が一体となった園舎を新設することを強く要望するという付帯意見が付けられたところでございます。

このことにつきましてですね、こちらの考えですが、統合の位置、統合の時期に

つきましては、答申通り進めたいと考えているところでございます。また、再編に関しての必要な事項につきましては、答申書を尊重しまして、できる限り答申通りにやりたいと考えているところでございます。最後の付帯意見ですけれども、幼稚園と保育園が一体となった園舎を新設すると、この方法でやらせていただければなと思いますけれども、新設についてご協議をいただければなと思います。

まず、こども園の統合について、ご協議していただきたいと思います。よろしくお計らいのほどお願い申し上げます。以上です。

○石山町長

それでは今、教育総務課長の方から説明がありました。

まずは、こども園の統合についての問いというようなことでございます。今、論点を整理させていただきますと、4つあったかなというふうに思います。

再度繰り返させていただきますと、1つとして、こども園の位置、2つとして統合の時期、3つとしまして再編に必要な事項に関して、そして4つ目として付帯事項といったことに関する討論かと思えます。それでは、1つずつでよろしいですかね。

まず、こども園の位置としまして、答申に従えば、おのだひがし園の幼稚園部園舎、保育園部園舎を利用することで、全員の合意が得られたとされております。

このことに関しまして、ご意見を賜りたいと思います。よろしくお願ひいたします。ご意見ございませんか？

(教育委員3人から賛成との意思表示あり)

○石山町長

ということで、こども園の統合の場所は、おのだひがし園を使用していくということで、ご承認いただけたということで決しました。

2つ目、統合の時期は、令和7年4月1日とするということでございますけど、これに関しまして、ご異議ございましたら？

(教育委員から異議なしとの意思表示あり)

○石山町長

はい、ではこれに関しましても、この通りで承認いただいたとさせていただきます。

再編に関しまして、必要な事項、こども園に関しまして、5つ挙げられております。

屋根の雨漏りやボイラーの配管、施設面の改修、幼稚園部と保育園部を結ぶホットラインの設置、きめ細やかなスクールバスの運行計画、4番として、おのだひがし園周辺の道路の整備と冬場の駐車場の安全化、5番目として、2園でのこどもたちの交流活動の実施

ということでございます。

もちろん、町の方としても、しっかりとご意見に従って精一杯の努力はしていく所存でございますけれども、委員の皆様に関しましては、どうでしょうか。これにプラスしてこうしろああしろといったようなご意見がございましたら？

大宮委員、よろしくお願いいたします。

○大宮委員

これまでいろいろ検討されると思うんですけども、その時点でいろんな細かいことが出てくると思うんですよ。そういう点も、町の方で予算が伴うものですけども、なんとか、最大の配慮をいただきたいと考えているところなんですけれども。

○石山町長

はい。今、大宮委員の方からは統合に向けて、まだこの5つ以外のことで、細かなことで様々な、いわゆる必要事項が出てくる可能性がある。それをしっかり受け止めて努力せい、といったようなことかというふうに理解しますが、よろしいでしょうか？

では、私、町長として、立場で、先ほどの繰り返しになるかもしれませんが、それは、この4つ、5つ、意外のことが出てきたとしても、しっかり、これ教育総務課なり、庁舎内でしっかりと議論させていただいて、対応できるように努めてまいりたいと思っております。

それ以外に、ご意見ありましたらお願いいたします。

では、まずは当面、今の大宮委員のご意見をいただきながら、こどもに対して必要な事項ということ、この通りでしっかりと行っていくということで、承認させていただければと思います。

次に、付帯意見なんですけれども、実はこの辺が、私としましても、もしかしたら、前段にもいろいろなお話が出たのかもしれませんが、ぜひ、お聞かせいただきたいところがございます。

教育委員会の加美町立認定こども園再編の基本方針にあるように、保育園部と幼稚園部が一体となった園舎を新設することを、強く要望するといったようなご意見をいただいているわけでございますけれども、やはり、今回ですね、4月になりましてから、それぞれ管理職の所属長面談ということをさせていただいております。ひがし園、またはにし園、みやざき園などの先生方からも、今の特にひがし園中心ですね、いろいろとお話を伺ったときに、施設のまず老朽化であったりとか、ちょっとこれ衝撃的だったんですが、実はひがし園におきまして、これ幼稚園部も保育園部、両方なのかどうかちょっとここ確認が必要なんですけども、男子トイレがないということなんです。それをはじめ私聞きまして、もちろんこどもたちのことが第一ですけども、職員さん、教員の皆様が働くといったような状況でも、現在、そのように環境的にもあまり良くない状況になっているといったことを、改めて認識させていただいております。

ですので、これは時期をいつにするかということ、ここで決めることもできませんが、

やはりこの付帯意見にいただいた、いわゆる保育園部と幼稚園部が一体となった園舎を新設するという事は、これは一つの大きな課題であるし、これは実行していかなくちゃいけない課題かなというふうに認識しております。

ただ、そうなった場合にですね、まず時期もそうですけども、場所をどこにするかという事が一番大きな問題かなというふうに認識しておりますので、今、ここで決定するということとはできないことかもしれませんが、予備的なご意見としてでもですね、今日、先生含む、あと、お三方の委員の皆様にも、忌憚ないご意見いただければなというふうに思っている次第です。よろしくお願いいたします。

○大宮委員

今のところ、やっぱり、にしもひがしも保育園部と幼稚園部が全部分かれているというのは、やっぱりね、ちょっと問題があるなと思ってたんですけども。

やはりそれにも関して、やっぱり東小野田小学校が統合することになって、東小野田に多分行くと思いますので、やっぱりその近くに設けた方が多分、というか、おそらく、いいかなと思っちゃう。

東小野田小学校のすぐ近く、現状の近くですからね、がいいと私は考えています。

○鎌田教育長

小学校とこども園と一緒に新しくなる機会に、特色ある教育として、幼小連携、そこを大きな特色にしたいというのは、かねがね思っていたところなので、やっぱり隣接した場所にあるといい。

あと、他の園ですね。私立園も含めて、やっぱり、老朽化もですし、あと環境面での作りも非常に課題があるというか、気がしているんですね。ホールも狭いし、あと、なんか、動線もですね、元園長さんいますけども、ちょっとやっぱり、こどもたちにとって環境的には大分劣るな、他の園に比べてですね。

そういう面でやっぱり早めに、園の新設ですかね、改築を、希望したいなとは思っています。

○石山町長

先生のイメージとしては、何年？何年以内に？

○鎌田教育長

できるだけ早く…。まあ、これは予算も。

○石山町長

そうです、そうです。でも、なんか私のね、これ、ストレートな表現させていただくと、自分の目安というのも目標数値としても、逆に、何年くらいがいいんじゃないですか、というふうに言われれば、それに向けて努力するということができるので。

つまり、数字にいただくとね、何か約束するわけではありませんよ。

○鎌田教育長

当初計画では、2年前の計画では、8年度、統合年度に新しい園でのスタートができれば

ば、というふうなところを考えていたところで。ただ、それがちょっと頓挫っていうかです。2年前ではそういう計画でもあったんですが、なかなか予算的に難しいということでストップした経緯があります。ただ児童数が減ってきているので、園舎の大きさなんか2年前の計画に比べるともう少しコンパクトにできるのかな。そして、人数はまた減っているんで、増加することは想定できないところなので、改めて設計とかすれば前回の予算よりは充分、ただ物価高騰しているんで何とも言えませんが。

8年度は無理でも9、10あたりには、おそらく2年、差でなかったと思うです。設計から、あと土地の場所決めて、来週、色麻の新しくできたこども園を視察しようかなと。

○石山町長

教育総務課で行くんですか？さっき理事長から電話があつて。来るの？って言われて。7億ですって、さっき電話で聞いたんですけど。やっぱり、すごくこの最初の基本計画から始まっていて、今この物価高騰に当たっちゃったから7億になったと。

○鎌田教育長

前の校舎を壊すのも合わせてですか？

○石山町長

ごめんなさい、それは聞いてなかった。もしかしたら、そういうのも含んでいるのかもしれないですね。

○鎌田教育長

結構、園舎は大きいし、まあ、元小学校の敷地も広いので、あの芝生だって結構お金をかけてる感じしますよね。

○猪股委員

でも、そういうこども園を立派にして、子供の若い夫婦を呼び込むっていうのもありかもしれないですね、加美町に。ちょっと期待したいなって。でも、子供はかわいって言うても、あの東のごちゃごちゃした場所に、密集してる場所に、そんな広いセットを作れる場所はあるのかなっていうのが一番やっぱり思ってた。

○石山町長

元々は、直美さんわかるかわからないんだけど、あそこに東の中学校あったんですよ。今の幼稚園部の。

○猪股委員

あれですか、室内運動場とかある中になんですか。

○石山町長

あの、室内運動場あるじゃないですか。あれが我々の体育館。あそこ、小学校の体育館じゃないですか。あそここの間にこう、ながーく、木造校舎の2階建てだったんですけど。で、今なんか確かにね、指摘されるとやはりなんか狭っくく感じるもんね。でもあそこにねえ、不思議だよ、あそこにあったんですよ。間違いなくあったの。そういうのもあって、よく今見ると、まさにね、これも直美さんがおっしゃるように、なんかやらごち

やごちゃしてるじゃない。

なんか、あれですかあの、これはもう自由な討論として、フリートークみたいなもので、ここにいいなっていうイメージありますか？

○猪股委員

イメージとしては、やくらい文化センターの、まあ小学校の近くについていうのもありませんけど、やくらい文化センターのちょっと敷地内でもないけど、なんかそこら辺に造ったら、こどもたちも図書館に行きやすかったり、保育園から帰る途中に絵本を借りれたりとか、そういうなんか動線でこう楽しめるのかなど。もっと図書館を使っていたらいいのかとか、ちょっと思ったりとかするんですね。

そうすると、統合性というか、小野田の活用できるものが、もうちょっとこどもたちにも知れ渡るし、多分今だとお母さんたち忙しいから、保育園に迎えいったらすぐにウジエスーパー行ってみたい、そういう動線になっちゃうんでしょうけど、近くにあれば寄って、返しやすし、借りやすしっていうのもあるのかなって思います。

○大宮委員

私の幼稚園のころ、西小野田小学校の中にあったんですよ。昔の木造校舎の中にあったんですけどね。今、お兄さんお姉さんとかいっばいて、怖かったりね、助けてもらったりした記憶があるんですけど、今の東小野田小学校の体育館にですね、雨の時でも来れるような感じで通路があって、幼稚園とも一緒に使えるような感じで、みんな一緒に集会できるような感じで。だからやっぱ近いのがいいかなって私は思ったんですけどね。通路で上がってくるとか。

○猪股委員

宮小を見てるとそうですね。宮小のお兄さんお姉さんが、みやざき園の子供たちの面倒っていうか見てたり、面倒見てるってわけではないだろうけど、隣で見てる姿とか、話しかけてあげてるのとか、そういうのがいいなって思いますね。

○石山町長

今の幼稚園があって、そこの前に公園あるじゃないですか、わかります？あるんですよ。そこ児童公園っていう風に我々呼んでるんですけど、直美さんの方から見たら、ここに小学校あって、こっちの方に幼稚園あるんですけど、ここら辺に公園があります。そこに昔、小野田幼稚園がありまして、自分らはその小野田幼稚園に行ったんですね。小学校の校長先生と園長先生は兼務ですけど、それが今教育総務課にいる鈴木くんのおじいさん、鈴木康夫先生だったんですけども、ご縁なんですけどね。自分たちは、給食は小学校の給食室で作ったのを、幼稚園児がですよ、雪に雨、降っていても雪降っていても、給食室行って持ってきて、途中でひっくり返って先生に怒られて。

小学校と運動会とか学芸会とか全部一緒になって、何も昔がいいってわけじゃないんですけど、さっき今大宮さんの話聞いてると、なんかあの幼稚園のこどもたちからするとね、小学校の雰囲気とか味わえたし、あと小学校のお兄さんお姉さんに面倒見てもらった

っていうイメージは、やっぱりあるんですけどね。

田中先生はどうですか？

○田中委員

やっぱり小学校と近いのが一番連携が取れていいのかなというふうに思います。

ただ、直美さんが言ったように、図書館とかの動線とかっていうのも、確かにそれも魅力的だし、もしそうだとするとやくらい文化センターの駐車場も、こうなんか合わせて駐車場はそこ、みたいなふうに使えたりするのかなっていうふうにも思うんですけども、やっぱり幼小連携って考えたときは、やっぱり学校とすぐ連携、行き来できる場所が理想かなというふうに思います。

○石山町長

これ一つのあくまで今日だけ、今日だからの話ですけど、小学校の建物に幼稚園の子も保育園も入れちゃうってことはどうなんですかね。

○田中委員

どうなんでしょう。幼稚園だけで考えればありなのかもしれないですけど、0・1・2も全部っていうのはどうでしょうね。

○猪股委員

お昼寝の時間とかもあるからにぎやかだとやっぱり落ち着かないっていうのもあるから。保育園部の時間帯はね。

○石山町長

なるほど、早坂先生のお話ちょっと聞いてもよろしいですか？

突然で申し訳ございません。あの、トイレ、今の現状の話に戻っちゃいますけど男女、トイレ、別れてないっていうのは？

○学校教育環境整備推進室主査

保育園です。幼稚園の方は新しく造っていただきました。保育園の方がいいんです。

○石山町長

保育園の方なんです。この前、三嶋先生に来ていただいて、いろいろお話を伺って、やっぱり両方ともね、蟻出たりとか、まあそれはそれで子供たちの情操教育に思ったりもしたんですけど、なかなかやっぱり老朽化、流れですよ。

どうでしょう、今日、課長どのくらいまでこの辺はお話を伺ったらいいんでしょうか？

○教育総務課長

はい、本日はですね、新設の方向でということ。ただ、新設でもいろんな方策が、方法があるところです。今の場所を建て替えてやるか、新しい場所に建てるか、あるいは、今の町長の案の通り、学校に入れるかというような、いろんな方法があるので。

今日は新設するかしないかのところで、今後どのような新設の仕方があるかというのを検討すればいいのかなと思っております。

○石山町長

では、新設するかどうかといったことを、結論として、この会議におきまして、どうでしょうか？

○総務課長

総務課長です。新設っていう風になると、総務課の立場で言いますと、前、企画財政課の方にいまして、予算伴いまして、今現在、総合計画を作成中ですが、あの新町建設計画、それは町の合併に伴う、いろんな建物を建てる、公民館を建てるとか小学校を直すとかっていうのもあるんですが、いろんなところ計画に入ってございませんで。

それをですね、今年、いろいろ皆さんから方向性を出していただいた中で、例えば、新設をするっていうことであったり、こう具体になってきたらそれを計画に載せるっていうことで、有利な起債を打てる、お金を借りたら後に、交付税で戻ってくるっていうのは、そういうやり方で、やると思うんですけど。今のところそれに入っていないので、今、その前の段階で、例えば新設するには、どういう規模でどのぐらい直すのであれば、どういうやつ、どのぐらいっていうのがこう決まったら、そういった計画を町の方に改めて出していただくことになるかと思って聞いておりました。

今日の話の内容ですと、まあ、位置と時期と必要な事項と、今、最後の新設っていうことで来ますので、新設のどのようにやるかというような方向性を出していただいて、あと、それをもって教育総務課でまとめられるような形で進めるのかなっていうふうにはちょっと思ってますので、そのような形で、本日はある程度、具体的なところまでいって、あと事務局の方で最終的におまとめして、また次のステージっていうのがあるのかなっていうふうには、ちょっと考えておりました。

○教育総務課長

ちょっと、私いいですか？すいません。今、あの、総務課長言ってること、私も重々承知しておりますけども、よろしければ方向性をちょっと決めていただければ。考え方、方向性をこの場で決めるのであれば、決めてもらいたいなと思います。

新設の方向性にするか、新設する、新設の方向に向かうか、もっと検討を要して、次の時に課題として残すか、ちょっと難しいと思うんですけども。

○石山町長

ちょっとまず、総務課長に聞きますけど、今、来年から、令和7年度から適用になる総合計画の策定が始まったじゃないですか。

つまり、その計画の中に書き込めるようにするということ、書き込めればいいということですか？

○総務課長

書き込むのは、今メンバーから出している段階で、書き込んで教育に関することは出されていると思いますが、施設につきましては、計画、お金かかりますから、合併特例債をあてがうためには、6年中に計画をある程度出していただく、もしくは過疎債という、それも起債なんですけど、それらを当て込むかということで、計画がないとちょっと

と入れられないというようなところでは具体的に、例えば、新設でさっき7億という話が出ましたが、どの程度の建物にして、さっき小学校と一緒にするという案であったり、小野田文化センターの駐車場に新しく建てるといったり、そのところを決めて、それに何人の規模で建てるといようなものが決まると、そういったものが動き出してくるのかなということになると思っていましたので。

それが出たら、裏付けとなる財源については、町の方でそれに必要な財源を当てて、計画に乗せていくということなので、今現在前段なので、こういったものを皆さん造りますかというような構想を取りまとめている段階だと思うので、その辺をもう少し煮詰めていただかないと、進んでいかないかなというふうに考えてはいるところで、少し具体的にしていかないと、なかなか加速していかないような感じでは聞いておりました。

○石山町長

ただ、その一方で、まずこれ現実的なところで、今日このメンバーですよね。このメンバーで、はっきり言ってしまうと、これも統合と同じようにいわゆるデリケートな話ですよ。こちらで草案を作るというのは、これ良いことです、悪いことじゃない、草案を作らなきゃいけないと思うんですけど、ここでじゃあ新設します、あそこの旧東小野田中学校を跡地に造りますっていうふうなことを決定していいんですか？決定できるんですか？

○教育総務課長

すいません。本日はですね、例えば今、東小野田小学校に建てますとか、やくらい文化センターに新設しますとか、そういう具体的なところではなくて、方向性を、まあ新設にもいろいろあると思うんですよ。今の園舎のところにやるんだか、あるいは児童館に新設をするんだか、あるいはやっぱりやくらい文化センターに新設するんだか、そういう場所的な問題もあると思うんですよ。あるいは、本当に東小野田小学校の中に新設をするんだかというようなところは、今日決めることじゃなくて、今後のことだと思うんですけど、本日は新設する方向性について、まずどうなるんだということを。

○石山町長

わかりました。じゃあこういう聞き方を皆様にさせていただきます。

付帯意見としまして、加美町立認定こども園再編の基本方針があるように、保育園部と幼稚園部が一体となった園舎を新設することを強く要望するという、こういうご意見が出ております。これに対しまして、お一人お一人にご意見を賜りたいと思います。

教育長どうですか？

○鎌田教育長

私としては、先ほども言いましたけども、統合の機会に新しい園舎という思いを強く持っていたので、新しくなる、それに併せて環境も新しくしてこどもの保育を充実させるというふうな思いがありましたので、ぜひ新設、いわゆる改築ですね。

保育園と幼稚園部が一緒になった園舎を建設していただきたいという思いでございま

す。

○石山町長

大宮委員は？

○大宮委員

はい。耐用年数も大分過ぎてきているようなこともあるので、新設した方がいいと思います。

その新設する方向で今後進めていただいて、どうしても造るまで1年とか、検討する時間は1年半とかかかってしまうと思いますけれども、本当により良いものを作るために、新設するためには検討委員会みたいなね、また新たに立ち上げて、検討して進めていったらいいんじゃないかなと私は感じております。

○石山町長

はい。猪股委員は？

○猪股委員

私も幼稚園部と保育園部は一緒の場所がいいと思います。

なぜなら、兄弟が同じ場所で保育を受けていた方が、お互いホッと合える環境もあるだろうし、今老朽化というお話も出ている通り、この間、にし園の方に入園式で行ってきたんですけども、やっぱりにし園も白アリ問題が発生しているらしくて、園長先生もあとわずか、ここでクラスのこどもたちが生活するのも、あと少しだから、なんとか補強をして行っている状況だというお話だったので。

やっぱりどこも加美町の建物、こどもたちのためにも新設して、新しい場所で保育、育児をしていただけたらなと思います。

○石山町長

田中委員お願いします。

○田中委員

私も、新しい園舎を予算があるのであれば作っていただきたいなと思います。小学校との連携を合わせてできたらいいかなと考えます。

○石山町長

それでは、今のお話でこの付帯意見の4つの項目の4番目ということになりますけれども、この答申にあるとおり、新設を行っていく方向でということで、今日の会議の中では意見、承諾ということで確認させていただきました。もちろん、今後、細かな事務手続きをどうするかということは、再度、別途、検討を要するということになるかと思えます。

こども園に関しては、以上かと思えます。

○教育総務課長

はい、ありがとうございます。それでは、続きまして小学校部の方に移らせていただきます。

小学校につきましては、答申では、東小野田小学校を利用することで、全員の合意が得られたということでございます。統合時期に関しては、令和8年4月1日の開校を目指すという答申でございます。再編に関して必要な事項ということで、4点挙げられております。東小学校周辺の道路、駐車場等の環境整備、校舎、校庭、プール、植栽等の学校環境の点検整備・補修、こどもたちが新しい環境に安心して臨めるように、交流活動の実施、放課後のこどもの安心・安全な居場所づくりとしての、児童クラブの設置というような必要な事項の答申がございました。

統合位置、統合時期につきましては、答申どおりに進めていきたいと考えておりますが、お諮りのことをよろしくお願ひしたいと思ひます。それと、再編に関して必要な事項につきましては、こちらも難しいところがありますけれども、できる限り最大限を努力したいなということと、放課後のこどもの安心・安全な居場所を作るというのは、この辺は町長部局の方ももちろん絡みますので、児童クラブの在り方等について検討していただければなと思ひます。統合後も、放課後の児童クラブの設置について検討を、準備をお願ひできればなとこちらとしては考えているところでございます。

よろしくご協議のほどお願ひいたします。

○石山町長

はい、今、教育総務課長の方から説明がありました。

論点としましては3つ。1つとしましては位置、2つとして時期、3つ目としまして再編に関して必要な事項ということになるかと思ひます。

位置と時期に関しては、これは東小野田小学校で令和8年4月1日の開校を目指すということです。これ2つの目的で、一括でご意見いただければと思ひます。

いかがでしょうか。何かご意見ありますでしょうか。

(教育委員から賛成の旨の意思表示あり)

○石山町長

よろしいですね。はい、続きまして、要件に関しましてなんですけど、再編に関しての必要な事項ということで、東小野田小学校周辺の道路、駐車場等の環境整備。2番目、校舎、校庭、プール、植栽等の学校環境の点検整備・補修。3番目、こどもたちが新しい環境に安心してなじめるように、交流活動の実施。4番目、放課後のこどもの安心安全な居場所作りとしての放課後児童クラブの設置、といった4点の項目がございまして。

それぞれでも構いません。また一括でも構いませんので、ご意見いただければと思ひます。または、先ほどのこども園と同じように、大宮委員がおっしゃってくださったことは、こちらにも当てはまるのかなという風には受け止めております。

そのほかはございましてか。

○鎌田教育長

先ほどの教育委員会でも、教育委員全体で意思決定をして、この答申に基づき進めていきたいというふうにご意見授かったと思います。

○石山町長

はい、わかりました。では、この今の3点に関しまして、ご承認いただけたものとして確認させていただきました。

以上でございます。

○教育総務課長

はい、こども園のご協議ありがとうございました。続きまして、説明させていただきたいと思います。

次にですね、今後の進め方等につきまして、学校教育環境整備推進室よりご説明をさせていただきます。

○資料「小野田地区「こども園」統合準備委員会について（案）」

上記資料により、学校教育環境整備推進室長より説明。

それでは、ただいま答申の方をご承認いただきました点を進めるためにですね、こども園統合準備委員会というものを設置しまして、今後検討していきたいと考えております。それで、小野田地区こども園統合準備委員会についての案という資料をご覧ください。

統合準備委員会の方、組織図となっております。まず、準備委員会の方を12名で組織しまして、メンバーについては、保護者代表4名、地区住民3名、こども園の園長2名、有識者3名の12名で組織したいと考えております。そこに部会を設けまして、各部会において検討事項、下段の方に書いてありますが、こちらの検討事項を検討いただきまして、その結果を、統合準備委員会の方で承認するような形の体制を取りたいと考えております。次のページをご覧ください。次のページについては、この準備委員会、設置に必要な要項等を定めております。こちらの方は、後でご覧いただきたいと思えます。

続きまして、5ページ目、統合準備委員会の名簿でございます。こちらの方については、先ほどの準備委員会の組織図の中の12名のメンバー、保護者の代表される方、地区の代表される方ということですね、委員の方を挙げさせていただいております。こちらのメンバーでよろしければ、この委員会の方、内諾をいただいている段階ですので、各委員の方に承認いただければ、進めていきたいと考えております。

続いて、こども園のスケジュールなんですけれども、令和7年4月の開園を目指しまして、準備委員会各部会については、このようなスケジュールで進めてまいりたいと思います。また、9月の条例改正でですね、こども園については、条例で園の名前と園の位置についての規定になりますので、こちらの方、9月の条例改正に間に合うようにですね、園の名前の決定を行っていただきたいと考えております。それに向けまして、準備

委員会の方で議論を進めていきたいと考えております。

このようなスケジュールで進めたいと思いますので、ご承認の方よろしくお願ひします。

○石山町長

そうしますと、3点ですか。1つとしては、このような組織としてやっていきたいということと、2つ目としましては、今提示いただいた委員のメンバーは、これでいいのか、あと、スケジュールはこれでいいのか、といったことの3点ということになりますね。

それでは、1つ1つ諮らせていただきます。まず、統合準備委員会の組織はこれでよろしいでしょうか？

(教育委員から承認する旨の意思表示あり)

○石山町長

それでは、これはご承認いただいたものとします。

あと、準備委員会の、または部会の方は、これは後から定めるということですか？

○学校教育環境整備推進室長

部会の方については、園の職員の方と保護者の代表の方からなりますので、後日、園の方にご依頼しまして、委員の方に選任していただくと考えております。

○石山町長

わかりました。じゃあ、今日のご承認いただくこと、ご議論いただくのは、この、準備委員会のメンバーのみですね。または、ここの組織的にこういう方々を当てるといったようなことも含めてということになりますね。

はい、それでは、いかがでしょうか。この準備委員会、具体的にお名前はあがっていませんけど、この方々にご依頼してよろしいでしょうか。

(教育委員から承認する旨の意思表示あり)

○石山町長

はい、ありがとうございます。最後に、統合までの準備スケジュールですが、何か、ご意見があれば、よろしくお願ひいたします。よろしいですか。

(教育委員から承認する旨の意思表示あり)

○石山町長

はい。それでは、こども園の統合準備委員会につきまして、すべてご承認いただいたも

のとさせていただきます。

引き続き、小学校の方をお願いします。

○資料「小野田地区「小学校」統合準備委員会について（案）」

上記資料により、学校教育環境整備推進室長より説明。

はい、それでは、引き続き、小学校の統合準備委員会の方の組織について、ご説明させていただきますと思います。

小学校の統合につきましては、令和8年4月を目標としておりまして、これまでの準備期間、準備委員会の方で、各検討項目を検討していきたいと考えております。

まず、統合準備委員会の組織ですけれども、保護者代表6名、地区住民代表を3名の方、小学校校長先生を3名の方、こども園の園長先生で2名の方、有識者3名の方の17名の組織としたいと考えております。それで、その下に、統合準備委員会推進本部を設けまして、こちらは、小学校の校長先生と部会長の方による7名で、校名、校章など検討事項を決めていきたいと考えております。その下に、総務部会、教育家庭部会、保護者部会、学校事務部会の4つの部会を設けまして、それぞれ検討事項を協議して決めていきたいと考えております。その部会で決まったものを、推進本部、準備委員会の方で検討していただいて、最終的に決定するような体制を取りたいと考えております。まず1点目がそちらとなります。

次のメンバーなんですけれども、まずこちらの方は、案はちょっとまだできておりませんので、次の会議の時にもお示ししたいと考えております。

最後のページになりますが、今後のスケジュールでございます。スケジュールについては年間のスケジュールとして記載させていただいております。このような形でいろいろ決めていきたいと考えております。それで小学校の設置条例もありますので、条例の改正を12月の条例改正を目指したいと考えております。それまでに校名等を決めていきたいと考えております。スケジュール的にもこのようなスケジュールでお願いしたいと考えております。よろしく申し上げます。

○石山町長

はい、今説明をいただきました、先ほどのこども園と同様に3点かと思います。

まずは1ページ目の組織に関しましていかがでしょうか。

ご意見を賜ればと思います。よろしいですか？

（意見なし）

○石山町長

はい、ありがとうございます。

2番目としまして、準備委員会のメンバーの方ですが、先ほどのこども園とは異なり個別具体的名前は出ておりませんが、これちょっと室長にお聞きしますけれども、ここで備考で西小野田小学校 PTA の方 2 名、鹿原小学 PTA の方 2 名というように言っておりますけれども、この辺はもう固定、この人数割で確定ということですか？少し変動がある可能性もある予定というようなことでしょうか？

○学校教育環境整備推進室長

よろしければこの辺まで確定したいと思っております。

○石山町長

わかりました。それぞれ先ほどのこども園とは異なりまして、個別の名前はまだ出ておりませんが、このような役割の方々をお願いしていくといったようなことで考えているようでございます。

ご意見賜れば、よろしく願いいたします。

(意見なし)

○石山町長

では、これもご承認いただけたものとさせていただきます。ありがとうございます。

最後にスケジュール案としまして提示されておりますけれども、いかがでしょうか？よろしいでしょうか？

(教育委員から承認する旨の意思表示あり)

○石山町長

ありがとうございます。

では、3つの案件に関しまして、ご承認いただきましてありがとうございます。では、以上で。

○教育総務課長

はい、以上で加美町立小野田地区認定こども園・小学校の再編について、協議は以上でございます。ありがとうございました。

<協議事項終了>

○総務課長

協議事項につきましては以上となりまして、次に4のその他に移らせていただきます。

皆さんからこの場で何かお伝えすることがあればお願いしておりますが、何かございますでしょうか？

○石山町長

はい、それでもやっぱりちょっと気になるのは、さっきの新設のことにに関してなんですけど。先ほど総務課長の方から、進めていくためには個別具体的にどうするかということを検討しないと、総合計画の方に入れるのが大変ですよ、といったような意見だったと思います。

どうしていくつもりですか?草案でもいいですけど、教育総務課長?

○教育総務課長

やっぱり予算の裏付けがないとなかなか進むことも厳しいと思いますので、今回ちょうどいい具合に6年度、総合計画の見直しの時期でもございますし、新町建設計画の時期でもございますし、そこにまずもってテーブルに載せていただき、そして過疎計画に載せてもらってやりたいなとは思っておりますけども、いずれ新設の方法はどうかというのは決めなければいけないものなので、その辺は早い段階でどうするか。あるいは、本当に東小にやるか、あるいはやくらい文化センターの方にするか、というのは教育委員会でも揉んで、なおかつ総合教育会議で揉んで、決めていって、予算のテーブルに載せるというようなことを今年度中にやりたいなと思っている状況ではございます。

○石山町長

自分のクエスチョンとしては、今言ったように教育委員会で揉んでというふうに、課長が言ったけど、それでいいんですか?大丈夫ですか?

○教育総務課長

という、議会でもということですか?

○石山町長

もちろん議会でもあるし、あとは例えば、町民の皆さんにそういう必要性はありますか?

○教育総務課長

やっぱり場所がってなれば、もちろん町民の意見とかいろいろ聞かなきゃいけないのかなと思うので、いずれプロセスを組んでだろうなあとは。

そのためには、たまごが先かニワトリが先かの話もありますけど、委員会として、町としての案を持っていくんだか、あるいは意見をいろんなところから聞いてやるんだか、というところなのかなって。一番最初、去年一昨年当たりの段階では、6億をかけて、今の児童公園、さっき町長が言ったあの辺に建てるよということを進めていた経緯があったんだけど、ちょっと頓挫した経緯があるので。その時は、どこにも町民の方にも何も検討、お知らせせず事務局内で粛々と進めていた経緯がありました。

○石山町長

やっぱりそこら辺のプロセス、手続きっていうのをなんか上手にやらないといけないのかなって思うことと、やっぱりあとは、大切なことっていうのは、こっちの場所を選定していくために、ここの場所が何かいいからってということじゃなくて、例えば、先ほど教

育長がおっしゃったように、小学校と幼稚園の連携っていうものを密にする教育を行っていくんだよとか、あとは、直美さんのあれだったら、もっと図書館とかそういう施設との連携とか、そういうのを密にするんだよとか、これは、どういうあれでもいいと思うんですけど、やっぱりその部分もですね。こう、みんなで1つコンセプトを固めるっていうことが、一番最初なのかもしれないなと思うんですけど。

○教育総務課長

そうですね。検討委員会が始まる前に我々のコンセプトでは、やはり、教育長が言ったように、幼小連携をより強化したっていうようなことが第一だっていうことで、検討委員の方にもご説明をして検討してもらった経緯がございます。

まずもって、やっぱり幼小連携の強化っていうのが第一にくるのかなっていうところを崩さず、いろいろコンセプトを作っていければな、いろいろプロセスを組んでいければなっていうのは、崩せない線なのかなとは思っているところです。

○石山町長

その辺は、あのチーム的な部分では手順っていうのはお任せしますので、いつ、何時集まって議論してくださいとかっていうのを逆に指示願います。はい、以上です。

○総務課長

そのほか、何かご意見等があれば承りますが、特にないようでございますので、これをもちましてですね、令和6年度の第1回加美町総合教育会議を終了いたします。

皆様お疲れ様でございました。どうもありがとうございました。